

平成17年度第3回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨

1. 日時・場所：平成17年9月7日(水) 10:00～12:00

経済産業省別館1020号会議室

2. 出席者：

(検討会委員)：森田委員、田中委員、新美委員、箱崎委員、花岡委員、平田委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員

(環境省)：環境保健部長、企画課長、調査官、環境リスク評価室長ほか

(オブザーバー)：茨城県、茨城県神栖市、神奈川県、平塚市

3. 議事概要

(1) 議題1「神栖市における汚染メカニズム解明調査 中間報告書の追補版について」

花岡委員より、ジフェニルアルシン酸等の分析結果のデータの修正の報告があり、コンクリート様の塊中に存在していたジフェニルアルシン酸の総量の推計に用いた最大値濃度(ヒ素換算値)が4900mg/kg 4800mg/kgへと修正があったことが報告された。その後、事務局より資料3、4に基づき、中間報告書の追補版の説明を行った。掘削エリアの西端外側部で確認されたコンクリート様の塊は、従来のコンクリート様の塊と連続する形で確認され、コンクリート様の塊の総重量が約52トン 87トンへと変更になったことを報告した。追補版の内容及び公表について了承された。

(2) 議題2「平塚市における今後の環境調査方針について」

事務局より資料5、6に基づき、これまでの経緯と、地下水モニタリング結果を説明し、今後の方針として平成18年1月を目処に実施する地下水モニタリング及び別途実施する土壌調査の結果を踏まえてその後の対策を検討することが了承された。

(3) 議題3「B/C事案等(10事案)の環境調査計画について」

事務局より資料7、8に基づき、10事案のうち、5事案(留萌、榛東、新宿、横須賀、浜名湖周辺)の環境調査等の説明を行い、了承された。

(4) その他

事務局より資料9に基づき、環境省水環境部が策定した水中の有機ヒ素測定方法の報告書について、ジフェニルアルシン酸等も測定しうる総ヒ素の測定方法(前処理)について報告を行った。